

**【沖縄セルラー】 創立 35 周年、県民の皆さまへの感謝を起点に新たなプロジェクトを開始  
～「All for Family. すべては家族のために。」 通信を基盤に、この島の未来をともに創ります～**

沖縄セルラー電話株式会社は、2026年6月1日に創立35周年を迎えます。これもひとえに、長年にわたり当社を温かく支え、共に歩んでくださった沖縄県民の皆さまのおかげであり、心より深く感謝申し上げます。1991年の創業以来、当社は沖縄に根差した通信事業者として「地元全力！」をスローガンに、本島をはじめ離島の隅々に至るまで、安心・安全な通信インフラの整備に努めてまいりました。これまで支えていただいた県民の皆さまへの感謝を起点に、これからの35年も、通信を通じて地域課題の解決と次世代の成長に貢献する周年プロジェクトを展開してまいります。

私たちは、この島に暮らすすべての人や豊かな自然をひとつの「大きな家族」と捉え、皆さまの日常や人生の特別な瞬間に寄り添える存在であり続けたいと考えています。その想いのもと、ブランドメッセージ「All for Family. すべては家族のために。」を掲げ、新たな一歩を踏み出します。

**【周年を象徴するブランド施策】**



**1. 周年ロゴの策定**

創立35周年を記念し、これまでの歩みと未来への想いを込めた周年ロゴを策定しました。一本のラインで構成されたフォルムは、沖縄に根付く「ゆいまーる」の精神である「ゆい（結）」と「まーる（巡る・回る）」を表現したシンボルマークです。また、アクセントとして配置されたオレンジのピクセルには、デジタルの広がりとともに、次のステージへ進化していく未来への意思を込めています。

本ロゴは、周年事業および各種広報活動において使用します。

## 2. 35周年ソング「結縁音（ゆいえんね）」の制作

沖縄出身アーティスト「かりゆし 58」の 20 周年と連動し、35 周年ソング「結縁音（ゆいえんね）」を制作いたしました。

かりゆし 58 がデビュー20 周年、当社が創立 35 周年という節目を迎えることに加え、ともに沖縄にゆかりのある存在であることから、本コラボレーションが実現しました。

本楽曲は、前川真悟さんが社員や創業メンバー、当社に縁のある方々へのインタビューを通じて得た想いやエピソードをもとに歌詞を制作したもので、人と人、地域と企業の“縁”を未来につなぐ想いを表現しています。

### 楽曲制作のための社員インタビューの様子



### 楽曲に込めた 35 周年プロジェクト担当者の想い

沖縄の地で歩みを続けてきた背景には、地域の皆さまの支えがあったからこそです。

この節目に、音楽を通して沖縄の魅力を世界と未来へ届け続ける、かりゆし 58 の前川真悟氏とコラボレーションできることを大変光栄に思います。

前川さんの温かくも力強い歌声とともに、皆さまへの感謝と、沖縄の未来へ向けたエールを込めた特別な 1 曲となっています。

本楽曲は、今後各種イベントや情報発信を通じて展開してまいります。

### 35 周年ソング「結縁音（ゆいえんね）」 [web ムービー公開サイト](#)

▼以下の QR コードからもご覧いただけます。



## 【地域課題の解決と未来人材の育成に向けた取り組み】

### 1. 「沖縄セルラー スマホみらい奨学金」の開始

当社は、創立 25 周年プロジェクトで「離島ケータイ奨学金」と「沖縄セルラー子ども基金」を立ち上げ、沖縄の子どもたちを支える取り組みを進めてきました。こうした歩みを受け、創立 35 周年の節目に、新たに「沖縄セルラー スマホみらい奨学金」（給付型）を開始します。

本奨学金は、社会福祉法人沖縄県社会福祉協議会 沖縄県児童養護協議会と連携し、沖縄県内の児童養護施設、児童心理治療施設、沖縄県里親会等に属する高校生を対象に実施します。

本制度は、2025 年 9 月に実施した児童養護施設等へのスマートフォン寄付をきっかけに創設しました。児童養護施設等で暮らす子どもたちの中には、通信費を児童手当やアルバイト代などで賄っているケースもあり、その負担が学びや生活に影響していました。こうした課題を踏まえ、端末の提供に加えて通信費も支援することで、スマートフォン利用に伴う経済的負担を軽減し、学びや将来に向けた活動を後押しします。

本制度では、県内の児童養護施設の高校 1 年生にスマートフォン端末を提供し、au/UQ mobile ユーザーには在学中 3 年間の通信費を支援します。進学や就職活動に欠かせない通信環境の確保を後押しし、情報格差の解消と将来の選択肢の拡大につなげてまいります。

また、本取り組みは、児童養護施設等で生活する高校生に対し、スマートフォン端末の提供と通信費支援を一体的に行う制度として、全国児童養護施設協議会の調査資料でも同様の事例は確認されておらず、当社調べでは国内初です。

### 県児童養護協議会へのスマホ贈呈式の様子



### 2. 地域課題解決ワークショップの開催（2026 年 8 月～11 月予定）

地域課題の発見から解決策の創出、プロトタイプ制作および発表までを一体的に体験するワークショップを開催いたします。本プログラムでは、沖縄が直面するリアルな課題を題材に、参加者がチームで解決策の検討に取り組み、ICT やデジタル技術を活用した新たな価値創出に挑戦いたします。さらに、単なるアイデア創出に留まらず、優れた提案については実証や具体化も視野に入れることで、地域課題の解決につながる可能性を広げてまいります。